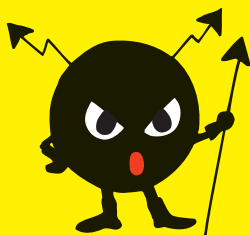


退治しよう！ トラブル細菌

可能な限り素晴らしい 学生生活を送るために

石井 満



1 夢と細菌（バイ菌）

学生生活は、あの苦しかった受験呪縛から解き放たれることから始まるわけです。基本的には本学に足を据えた生活は楽しいものです。第一、親をも含め人が何だかんだとそうは言って来ない。一定の範囲内とは言え好きなことができる。勉強だっつていやな科目は沢山しなくとも何とか済ませられる。いつか免許を取り車だっつて手に入れられるだろう。勿論、いっぱい勉強して将来の素晴らしいさと呼び込むこともできる。そっつだ！恋人もつくるぞ！まだまだ楽しいことが一杯ありそうだ！ルンルンルン、ルルルのルン！

しかし、しかしですよ。変な浮き足学生がいるならばこの者には現実がほどなく厳しさをプレゼントしてくれるでしょう。

2 忍び寄るトラブル細菌

確かに、入学して新しい友人と語らい、他所の地方のお話を楽しみや驚きがあり、沸き上がる好奇心もたくさん生まれます。一方、漠然としたものではあるが新生活への不安、勉強に対する期待と不安、下宿生には望郷の念などが交錯し内面的不安定さが大なり小なり生じて来ながらも基本的には楽しさが優先し、生活にも慣れやがて麻痺してゆくことが多いものです。実は、実はこのプロセスの中に有ってはならないとんでもないトラブル細菌があなたにターゲットを絞り込み始めているのです。あなたにですよ。あなたに！怖いことですよ。恐ろしいことですよ。

3 トラブル細菌て何？

トラブル細菌の発症例を示せばおおよそ次のようなものです。悪徳商法全般、身近には新聞

購読の強要、宗教や特殊な団体・集団の悪質勧誘、自爆を含めた交通事故、栄養不足、病气や怪我、精神的不安定、酒の上でのトラブルや一気飲みから救急車はては死亡事故、バイト先でのトラブル、空き巣泥棒に詐欺、火災、セクハラやストーカー行為、情報化の悪副産物であるサイトやネット上のトラブル、カードから派生する事件や多重債務等々です。ああ、そつそつ、ぐうたら病にたるみ病、なんていうのもありますね。言うならば学生生活のトラブル病症は一般社会生活のそのコピー版のようなものです。ここで、全てに触れるわけにはゆきませんので一つのトラブル病症についてお話ししましょう。

4 カードのトラブル 耐性菌の出現！

このトラブルの発生原因には少なくとも「自己責任不感症型」といわゆる「お気の毒型」の二つがある。前者はカードによる買い物から発生するものであって、現金払いでないため、だんだん緊張感が薄れ、買い物頻度が高くなり、場合によっては額も高額になりうるもの。気がつ

MITSURU ISHII

経済学部教授。

高崎生まれ。東京理科大学理学部数学科卒業後、同大学大学院理学研究科修士課程修了。

専門分野は統計学、O.R.

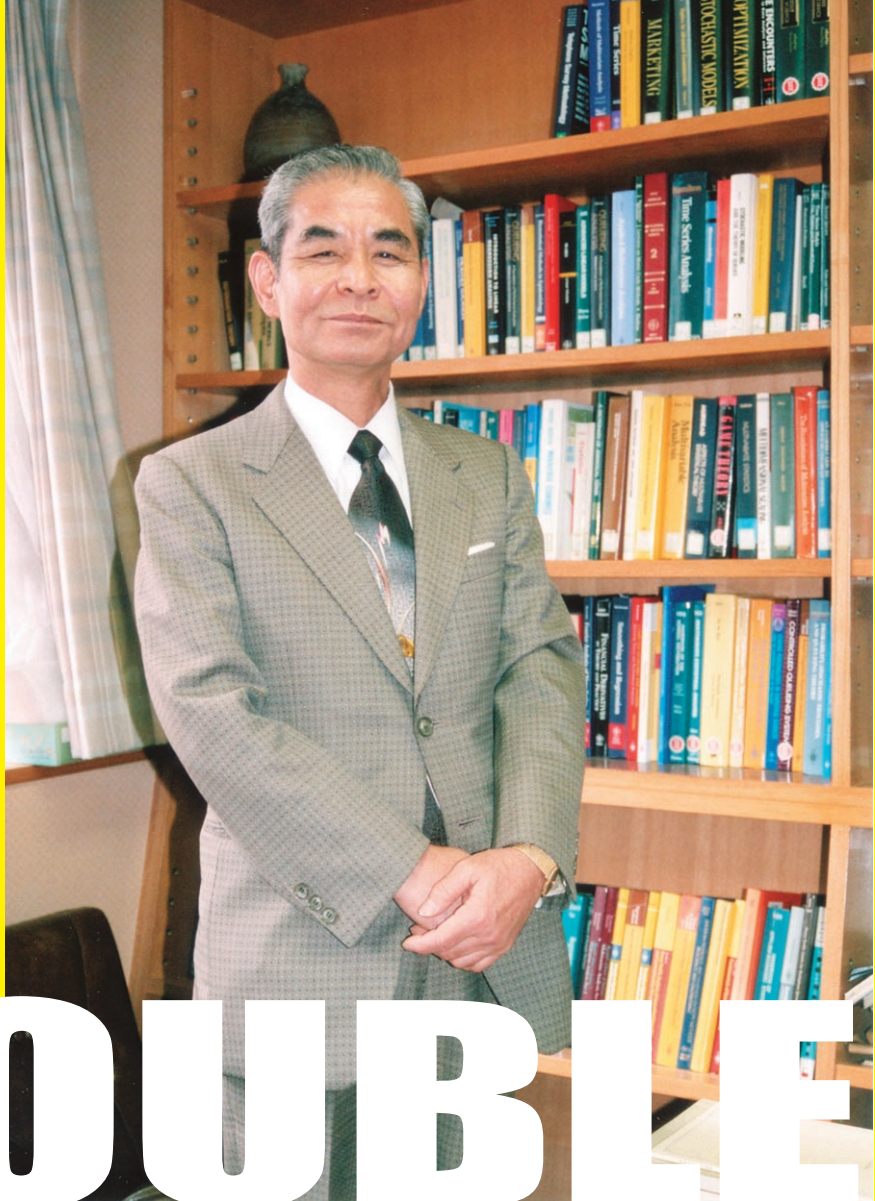
著書

「多変量解析」(青山社)、

「経済経営系のための統計学」(森北出版)等

現在の関心事

「再生企業の諸データ解析」と「温泉めぐり」



TROUBLE

いたら支払い能力を超えていた。しかし、親には言えない。そこでカードローン。これがまた雪だるま式に増大。この結果、ある者の落ちるところは地獄の9丁目9番地の9というところ。あげくのはてに裁判所に向い、破産宣告ともなりかねない。この後に待っていることはとうてい筆舌に尽くせるものではありません。まずは衝動性の克服、「がまん」の心が大切です。(実は、折りがあればこの辺のところを詳しく書いてみたいと思っております。それが可能な立場にも身を置いているからです。)原因の後者は、カード情報の盗難というものであって本人の知らないうちに偽造カードが使われてしまうなどということ。少なくとも時々々は残金のチェックをするべきです。

5 退治しよう！トラブル菌

多くの場合、希望にもえて本学に入学したときの目的や夢に心いたし、めり張り・リズム感のある生活を行うことをでトラブル菌を相当に叩くことができます。このことをなす補助薬剤もあります。それは「感謝の心」というものです。この心を体して学生生活を送るならばトラブル菌が近づく心の隙も少なくなる配慮がゆきとどくのです。

もし、万が一、トラブル菌が忍び寄りそうなとき、あるいはやられてしまったときは、本学にある学生相談室、クラス担当やゼミの先生等々にお世話になれるすぐれたシステムを活用しましょう。先生方はじめ皆さん大変に学生思いですよ。